

株式会社ジャックスと「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする「ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下「本商品」）」を提供しております。

本商品は、「持続可能な開発の3つの側面（経済、環境、社会）のいずれかにおいて潜在的なマイナスの影響が適切に特定・緩和され、なおかつ少なくともそれらの一つの面でプラスの貢献をもたらす」ことを企図するファイナンスであり、お客さまの事業活動が環境、社会、経済にもたらすインパクトを包括的に評価・モニタリングし、お客さまの ESG 経営を金融面から支援するものです。

本商品のインパクト評価は、当行が三菱UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「MURC」）と共同で策定した「ポジティブ・インパクト・ファイナンス フレームワーク」（以下「フレームワーク」）に基づいております。フレームワークには評価にあたっての基準や体制等が規定されており、株式会社日本格付研究所（以下「JCR」）より、国連環境計画金融イニシアティブによる「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合している旨の第三者評価を取得しております。

この度、当行は、株式会社ジャックス（代表取締役社長 村上 亮、以下「ジャックス」）に対し、本商品の契約（以下「本契約」）を締結いたしました。ジャックスの事業活動に関連する重要なインパクト領域における評価結果は次の通りです。なお、本評価は、当行と MURC が共同で実施し、フレームワークに基づいた評価である旨を JCR より確認しております。

《本件の概要》

ジャックスグループは、中期3カ年経営計画「MOVE 70」における3年後のあるべき姿として、ESG 経営の推進を掲げ、「サステナビリティ基本方針」に基づき、『「夢のある未来」「豊かな社会」の実現に貢献する』という経営理念のもと、ステークホルダーの信用・信頼を得ながら、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献することで持続可能な社会の実現と企業価値向上を企図しています。



本契約の締結にあたり、SDGs（持続可能な開発目標）の目標達成に対しインパクトを与える活動として、ジャックスグループの事業及び重要課題から以下のテーマを選定しております。

【ポジティブ・インパクトの創出に関する評価】

インパクト領域	活動内容とインパクトの状況
<経済> 包摂的で健全な経済	クレジット事業、カード・ペイメント事業、ファイナンス事業による金融サービスへのアクセスの提供 ↳クレジットカード取扱高 国内1兆4,034億円、海外442億円（2021年度） ↳カード・ペイメント取扱高 国内2兆6,903億円、海外6億円（2021年度） ↳カード会員数 国内6,543千名（2021年度） ↳ファイナンス取扱高 国内7,280億円（2021年度）
<社会> 移動手段 <経済> 包摂的で健全な経済	オートローン、カーリースによる手ごろな移動手段供給への貢献 ↳オートローン営業収益 313億円（2021年度）
<社会> 住居 <経済> 包摂的で健全な経済	リフォームローン、家賃保証による適正かつ安全・便利な住居供給への貢献 ↳リフォームローン取扱高 1,072億円（2021年度） ↳家賃保証取扱高 4,027億円（2021年度）
<環境> 気候 <経済> 包摂的で健全な経済	脱炭素商材ローン・決済商品の提供と取扱を通じた環境負荷低減 ↳ソーラー、蓄電池、V2H、EV、FCV等のローン実施
<社会> 保健・衛生 ※インパクト領域が多岐にわたるため主な領域を表記	寄付活動による寄付先での社会貢献活動の支援 ↳社員利用のジャックスカードに付与されたポイントの一部を金額に換算し、会社が同額を上乗せして寄付活動を実施（総額513万円、2021年度） <主な寄付先> ・認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク（小児がんの子供の支援） ・認定NPO法人 3keys（子供の生活・教育支援） ・公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会（文化財・風景地の保全） ・NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会（森林・生態系保全） ↳自然災害に対して義援金拠出 ↳「日本盲導犬協会カード」の発行時、及び年会費・利用代金の一部を公益財団法人日本盲導犬協会に寄付（約1,069万円、2021年度） ↳毎月のカード利用額に応じてたまるポイントプログラム「ラブリーポイント」を活用し、カード会員が寄付活動に参加（寄付先：ユニセフ、国境なき医師団等）

<p><社会> 雇用 <経済> 包摂的で健全な経済</p>	<p>女性活躍推進</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 女性社員の積極的登用 └ 多様な働き方支援 └ 仕事と育児・介護の両立支援 └ ロールモデルの育成、フォロー体制の徹底 └ 女性管理職割合 29.6% (課長職以上・課長職に次ぐ階層で部下を持つ女性社員割合、2021年度) └ 女性活躍推進法「えるぼし」認証取得
<p><社会> 雇用</p>	<p>従業員に対する育児・介護支援</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 育児介護関連制度 (育児休業取得、ワークライフバランスの推進等) └ 育児休業取得率 (2021年度) <ul style="list-style-type: none"> ・女性 100.0% ・男性 72.2% └ 次世代育成支援対策推進法「プラチナくるみん」 └ 福利厚生表彰・認定制度「ハタラクエール」の認証取得

【ネガティブ・インパクトの緩和・管理に関する評価】

インパクト領域	インパクトの状況と、緩和・管理の状況
<p><社会> 人格と人の安全保障 <経済> 包摂的で健全な経済</p>	<p>【インパクトの状況】</p> <p>個人情報 (クレジットカード情報等) の流出及びクレジットカードの不正利用事案の発生</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 2006年 カード会員情報 15万件の流出、総額 667万円の不正利用 └ 2019年 会員サービスにリスト型攻撃、634件のアカウント情報流出の可能性 └ 2021年 サーバーへのサイバー攻撃による不正アクセスにより、企業情報及び個人情報の一部が流出した可能性 <p>【緩和・管理の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年 個人情報取扱主任者の認定試験に 211名が合格 (全社員の取得を目標としている) ・ 全従業者を対象とした個人情報保護教育の実施 ・ ISO/IEC27001 の取得 ・ 顧客情報を管理する基幹システム「JANET」、WEBシステム、オンラインシステムについて「PCIDSS」の準拠認定を取得
<p><環境> 気候</p>	<p>【インパクトの状況】</p> <p>事業活動に伴うエネルギー使用</p> <ul style="list-style-type: none"> └ エネルギー使用量 1,729kL (2021年度) └ 使用量削減率 -9.0% (2020年度比) └ エネルギー使用原単位 0.03872kL/m² (2021年度) └ 使用原単位削減率 -7.4% (2020年度比)

	<p>事業活動に伴う温室効果ガス排出</p> <ul style="list-style-type: none"> └ Scope1 1,618 t-CO2 (2020 年度) └ Scope2 5,837 t-CO2 (2020 年度) └ Scope1+2 7,456 t-CO2 (2020 年度) <p>【緩和・管理の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低燃費車両の導入 ・LED 照明の設置推進 ・再生可能エネルギー調達
<p><社会> 保健・衛生 雇用</p>	<p>【インパクトの状況】</p> <p>労働時間の増加に伴う従業員の健康への影響 ※1</p> <ul style="list-style-type: none"> └ 「ノー残業デー月3日以上」、「プレミアムウィークデー月1日」の実施率 99.1% └ 「有給休暇年間付与日数に対して 60%以上」の取得率 74.9% └ 超過勤務時間平均 月 12.9 時間 └ ストレスチェック実施率 99.8% 総合健康リスク 100 ※2 └ 定期健康診断実施率 100% └ 2次検査実施率 99.5% └ 問診票による睡眠調査における「熟睡できている」の回答率 66.3% └ 特定保健指導終了率 86.8% └ 「健康経営優良法人～ホワイト 500～」認証の取得 <p>※1 全て 2021 年度実績 ※2 全国平均値を 100 として比較</p> <p>【緩和・管理の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャックス ワーク・ライフ・バランスプロモーション(ノー残業デー、プレミアムフライデー、有給休暇の取得推奨、超過勤務時間の抑制)の実施 ・ジャックスグループライフケアポイント制度(ノー残業デー月5日以上実施者、有給休暇7割取得者、献血参加者、通信教育受講修了者へのポイント配布)の実施 ・定期健康診断、生活習慣病検診、再検査等の完全実施・管理の強化 ・特定保健指導の強化 ・ストレスチェック及びメンタルヘルス支援 ・ジャックス健康ダイヤルの設置(社外医療相談窓口) ・健康投資支援制度全般の認知向上、取り組み強化 ・「健康経営優良法人～ホワイト 500～」認証の継続取得
<p><環境> 廃棄物 <経済> 資源効率・安全性</p>	<p>【インパクトの状況】</p> <p>廃棄物(プラスチック等)の増加</p> <p>【緩和・管理の状況】</p> <p>ペーパーレス化の推進やカードレス化によるプラスチック等資源使用量削減による環境負荷低減を実施</p>

特定されたポジティブ・インパクトの創出を維持および、ネガティブ・インパクトを緩和・管理するため、ジャックスによる今後の取組内容、目標、当行がモニタリングを実施する項目（KPI等）および、特定したインパクトの項番との主な対応関係については以下の通りです。

【目標（KPI）】

内容	目標とモニタリング項目（KPI等）
脱炭素ソーラーローンの推進	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度太陽光発電向けファイナンス（ソーラーローン）取扱高：331億円 <p>【モニタリング項目（KPI等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電向けファイナンス（ソーラーローン）取扱高
管理職（課長職以上・課長職に次ぐ階層で部下を持つ社員）への女性登用	<p>【目標】</p> <p>2024年度 女性管理職割合（課長職以上・課長職に次ぐ階層で部下を持つ社員）：35%</p> <p>【モニタリング項目（KPI等）】</p> <p>女性管理職割合</p>
省エネ活動の推進	<p>【目標】</p> <p>エネルギー使用量の年1%以上削減</p> <p>【モニタリング項目（KPI等）】</p> <p>エネルギー使用量</p>

当行は、特定されたインパクトの創出状況やネガティブ・インパクトの緩和・管理の状況、目標、モニタリング項目（KPI等）の状況について、ファイナンス期間にわたり年1回モニタリングを実施してまいります。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上